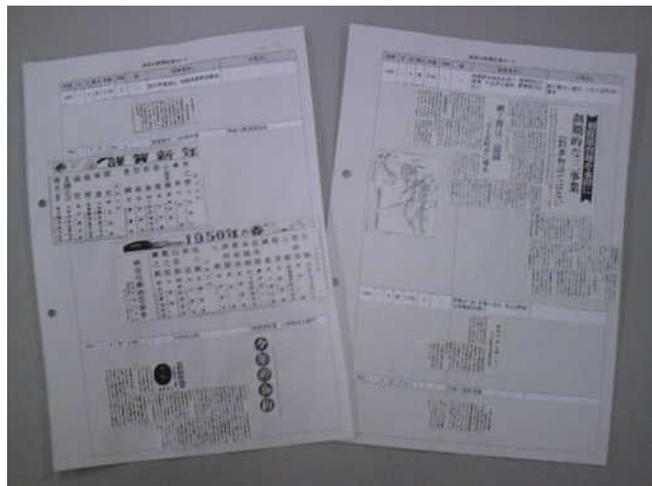


## 新聞記事整理活用作業、その後 ～目録カード作成から～

市史編さんだより第 26 号(2005.9.1)に掲載の「神奈川新聞記事の整理活用作業」については、その後神奈川新聞「ぐるっとながわ」面でも取り上げられました。県立公文書館などで収集した 1945(昭和 20)年から 1961(昭和 36)年までの記事について、現在目録カード化を進めています。このカードは 2007 (平成 19) 年度に刊行される市史「現代資料編」執筆の基礎資料として活用します。



相模原関係の記事をコピーし、カードに貼り込む。



3～4 点程度の記事が、1 枚のカードになっている。



ファイリングされたカード。2 冊で 6 年間分の記事。



既に県立図書館で目録化されていた記事の、パソコンへの入力も行っています。

## 進めています、現代編資料調査

市史編さん室では、市史「現代資料編」編さんのため、県内や都内の図書閲覧施設に出向き、公文書などの調査を進めています。県立公文書館（旭区）では相模原市関係の県公文書、国立国会図書館（千代田区）や防衛庁防衛研究所図書館（目黒区）では文献類・軍事関係、座間市立図書館では統計資料や1948（昭和23）年の座間町分離などの資料を調査収集してきました。



防衛庁防衛研究所外観



農林水産政策研究所外観と図書室（東京都北区）

最近では、農林水産政策研究所（北区）の図書室に度々お伺いしています。ここには農地改革など戦後の相模原の農業に関する資料が数多く保管されており、今後の市史への活用が期待されます。

## 郷土・歴史学習のお手伝い

市史編さん室では、市民のみなさんへの学習機会の提供の場となるよう、「市史ができるまで」とした講座を用意しています。相模原市史編さん事業の内容や2004（平成16）年11月に刊行した市史続編「現代図録編」、資料収集について、職員が1時間程度の説明を行います。会場は講座を希望する方に確保していただきますが、受講の費用は無料です。開催日時などは、ご相談ください。



相模原郷土懇話会調査研究発表会で事業説明  
会場：市立図書館中会議室

## 文化遺産部会を開催

2006（平成18）年2月21日（火）に今年度第2回目の部会を開催しました。

現在編さんを進めている市史続編では、「社寺等の文化財や近代化遺産に関するテーマ編」の刊行を予定しています。

今回の会議では、文化遺産関係の他市町史の紹介のほか、取り上げるべき内容などについて話し合われました。

文化遺産部会の様子  
会場：市史編さん室会議室



## 相模原ものモ/事典⑧

### バス

毎日の通勤や通学、買物などにバスを使っている方も多いのではないのでしょうか。

右の写真は1967（昭和42）年に撮影された国鉄（現JR東日本）相模原駅前の様子です。神奈川中央交通㈱の路線バスのほかに、市内各企業の送迎バスが目立ちます。



（相模原市広聴広報課所蔵）

市史現代図録編所収の「バス乗車人員」によりますと、市内のバス年間乗客総数は1952（昭和27）年に13万人（1日平均乗車人員4,050人）でした。1972（昭和47）年には4,190万人（同114,471人）とピークを迎えます。その後は減少し2001（平成13）年には2,112万人（同57,847人）になっています。また、今年の1月30日からは橋本駅南口～相模川自然の村間で、市がコミュニティバスの実証運行を開始するなど、新たな動きも見られます。（主任 方波見 淳）



デモ行進の横を行くバス 1971（昭和46）年  
（相模原市広聴広報課所蔵）

神奈川中央交通のバスの赤い塗装は相模湾の波の形を表していた。しかし現在は直線で塗り分けられている。旧塗装の最後は相模原営業所のバスで、1999（平成11）年に引退。記念に模型が発売された。

（個人蔵）



## 市史講演会「日本歴史の中の相模原—前近代を対象に—」を開催

日時：2006（平成18）年3月11日（土曜日） 午後2時～4時（開場午後1時30分）

会場：相模原市立博物館大会議室

（高根3-1-15/JR横浜線淵野辺駅南口下車徒歩20分/路線バスもあります）

講師：神崎 彰利（市史編さん室特別顧問・写真）

内容：相模原の歴史が、日本の歴史の中でどういう立場にあるか。この視点から市の歴史を再考する。

対象：15歳以上（中学生を除く）

受講料：無料

定員：200人（当日先着順）





## 編さん室の動き（1月～2月）

月	日	内 容
1	4	市史編さん室仕事始め、「市史編さんだより第28号」発行
	5	考古編資料調査（磯部個人資料）
	11	市史編さん調査員委嘱
	17	現代編資料調査（国立国会図書館）、県立公文書館資料マイクロ撮影開始
	20	歴史資料の保存活用について打ち合わせ会議（本庁）
	24	現代編資料調査（農林水産政策研究所・31日にも実施）
	25	現代編資料調査（県立公文書館、座間市立図書館）
31	民俗部会田名地区巡検、民俗編調査依頼（上溝個人宅）	
2	1	資料調査（当麻個人宅）
	2	現代編資料調査（農林水産政策研究所・7、9、14、21、23、28日にも実施）
	4	博物館歴史講演会「津久井の歴史を知ろう」講師：神崎特別顧問
	5	考古編資料化作業打ち合わせ
	7	考古編資料調査（東京都埋蔵文化財センター）
	11	近現代部会開催
	15	神史協研究会に参加（綾瀬市役所）、民俗編資料調査（上九沢・梅宗寺観音堂）
	16	現代編資料調査（座間市立図書館）
	18	相模原郷土懇話会調査研究発表会に参加、現代編資料調査（共に市立図書館）
	21	文化遺産部会開催
23	現代編資料調査（防衛庁防衛研究所）	



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室又は相模原市役所行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	A5判・578～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・104ページ	平成17年3月

## 「さがみはら市史編さんだより」第29号

発 行 2006(平成18)年3月1日

編 集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19（市立博物館隣り）

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp>（相模原市トップページ）

（市のプロフィール⇒市史編さんについて、または観光・文化⇒市史編さん の順で御覧になれます。）